

2024 年度 傾斜的研究費（全学分） 研究報告書

【研究代表者所属】：産業技術専攻

【研究代表者氏名】：板倉宏昭

【研究代表者氏名フリガナ】：イタクラ ヒロアキ

【研究代表者職】：板倉宏昭

【国内研究分担者（所属、氏名、職）】

【国外研究分担者（所属、氏名、職）】

【研究課題名】：山村のサステナビリティ戦略

【研究実績の概要（800～1000 字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

地域バリューチェーン分析

研究アプローチの一つとして「地域バリューチェーン分析」を採用している。この手法は 2021 年に『地域バリューチェーン 持続可能な地域を創る』（勁草書房）として共著で出版されており、地域の価値創造プロセスを系統的に分析する枠組みを提供しています。この手法では、地域内の経済活動や資源の流れを可視化し、付加価値が創出される経路と構造を明らかにすることで、サステナビリティ戦略の立案に活用している。

多変量解析、共分散構造分析によるモデル構築

板倉教授の研究では、地域の持続可能性に関わる多様な要因間の関係性を明らかにするために共分散構造分析も採用しています。この統計的手法により、「地域コミットメント」「組織ケイパビリティ」「外部力（ヨソモノ）」「内部力（ジモティ）」「地域の物語」といった理論的概念間の因果関係を定量的にモデル化し、サステナビリティ戦略の効果予測や政策立案に活用している。

AI 感情分析の導入

AI を活用した感情分析手法を取り入れている。アンケートやインタビューで得られたテキストデータから、肯定的・否定的感情や特定の心理状態を自動検出し、定量化する手法です。生成 AI の進展により、テキストデータからより精緻な感情パターンの抽出が可能になり、地域住民や訪問者の潜在的なニーズや不満を明らかにする上で有効なツールとなっている。

フィードバックインタビュー分析

定量的分析に加え、質的研究手法としてフィードバックインタビュー分析も重視している。これは、初期調査の結果を基に、地域住民や関係者に深掘りインタビューを行い、統計的に見出された傾向や課題について現場視点からの解釈や対応策を引き出す手法です。特に、学生が実際に檜原村へ移住してフィールドワークを行う取り組みを通じて、現地での直接的な対話と観察に基づく質的データの収集を重視している。

実践的研究成果

2024年7月には、これらの研究活動の発展形として、東京都立産業技術大学院大学スタートアップ・アクセラレーター研究所と檜原村との間で正式に交流・連携協定が締結されました。この協定に基づき、檜原村のインターネット放送局設立や村の産業体験、観光アプリの開発など、具体的なプロジェクトを行った。また、檜原村の豊富な森林資源を活かした「木のお酒」の商品化といった実践的な成果も生まれている。

地域固有の資源と文化を活かしながら、外部からの知見と内部の力を結合させた持続可能な山村モデルの構築を目指す先駆的な取り組みであり、その複合的な研究手法は他の過疎地域にも応用可能な知見を提供している。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

1. 檜原村 新体制における価値創造、地域デザイン学会 第6回合同フォーラム、2024年4月
2. 地域ビジネス研究における計量分析再考、日本経営システム学会 第72回全国研究発表大会 麗澤大学柏キャンパス、2024年5月
3. スタートアップ・アクセラレーター研究所の活動状況、ビジネスクリエーター研究会 第4回国際ビジネス創造部会、東京都立産業技術大学院大学、2024年6月
4. 檜原村の現状、第1回横幹連合SDGs調査研究会 東京理科大学経営学部、2024年6月
5. 地域発戦略デザインの挑戦、地域デザイン学会 第7回戦略デザインフォーラム 東京都立産業技術大学院大学、2024年6月
6. 地域バリューチェーン 一持続可能な地域を創る一、標準化研究学会 第21回全国大会 梶山女子学園大学（基調講演・招待講演）、2024年7月
7. 地域バリューチェーンの理論と実践—持続可能な地域の創造に向けた理論—、標準化研究学会 第21回全国大会 梶山女子学園大学（招待講演）、2024年7月
8. コンテンツとコンテクスト、そしてモデルとメソドロジー、地域デザイン学会 第4回デザイン科学研究推進フォーラム 東海大学品川キャンパス、2024年7月
9. 地域マネジメント視点で考える檜原村の現在地とこれから、第2回横幹連合SDGs調査研究会 東京理科大学経営学部、2024年7月
10. 地域発イノベーションの挑戦、実践経営学会 第67回全国大会 日本大学商学部、2024年8月
11. 中山間地域の工業団地開発の特異性 一金沢テクノパークの事例研究一、実践経営学会 第67回全国大会 日本大学商学部、2024年8月
12. 伝統と革新：地域の持続可能な発展へのアプローチ、地域デザイン学会 第13回全国大会 東海大学湘南キャンパス、2024年8月
13. 地域デザインのコンテクスト展開、地域デザイン学会 第13回全国大会 東海大学湘南キャンパス、2024年8月
14. ESG投資と市場評価に関する試論 一独立系ファンドの事例分析を通じて-、情報社会学会 年次研究発表会 東京大学本郷キャンパス、2024年9月
15. ZとCAとの関係と地域課題への対応、地域デザイン学会 第8回ZTCAデザインモデル研究フォーラム 東海大学品川キャンパス、2024年9月

- 16.檜原村の魅力と強みを活かした産業振興可能性研究、地域デザイン学会 第3回檜原森の生き方フォーラム 檜原村役場住民ホール、2024年11月
17. 地域ビジネスにおけるサステナビリティと経済成長の相反する価値観の統合プロセス—接続可能な地域振興モデルの構築について—、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 18.スマートツーリズムを活用した過疎地域の観光振興—東京都檜原村を事例とした定住人口減少対策の実践的研究—、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 19.都市近郊中山間地域の工業団地開発による産業立地・振興の優位性—経営学的アプローチによるケーススタディ(金沢テクノパーク)—、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 20.ドローン事業による地域活性化の効果と可能性、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 21.リピーターが地域への愛着に至るプロセスについての一考察、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 22.空家・古民家再活用による地域密着動画スタジオで情報発信力と質的価値の向上、第15回横幹連合コンファレンス
東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 23.東京都西多摩郡檜原村における移住者と受け入れ住民の関係性、第15回横幹連合コンファレンス
東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 24.檜原村における地域バリューチェーン分析—持続可能な地域振興モデルの構築に向けて—、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 25.解釈可能な機械学習を用いた檜原村の現在と未来の幸福感・地域要素向上のための要因分析、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月
- 26.変革の時代を生き抜く力—MIT スローン・スクールの学びから紐解く人材育成の未来—、第15回横幹連合コンファレンス 東京科学大学大岡山キャンパス、2024年12月

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

- ・1.地域ビジネス研究における計量分析再考、日本経営システム学会第72回全国研究発表大会講演論文集、2024年5月
- 2.地域バリューチェーンの理論と実践—持続可能な地域の創造に向けた理論—、標準化研究学会 第21回全国大会、2024年7月
- 3.地域発イノベーションの挑戦、実践経営学研究No.16、2024年8月
- 4.中山間地域の工業団地開発の特異性 一金沢テクノパークの事例研究—、実践経営学研究No.16、2024年8月
- 5.伝統と革新：地域の持続可能な発展へのアプローチ、地域デザイン学会 第13回全国大会 予稿集、2024年8月
- 6.ESG投資と市場評価に関する試論 一独立系ファンドの事例分析を通じて、情報社会学会 年次研究発表会、2024年9月
- 7.NFTを活用した価値創造の挑戦—地域振興への応用可能性を中心に、地域デザイン学会誌 地域デザ

イン No.24、2024 年 9 月

8. 地域ビジネスにおけるサステナビリティと経済成長の相反する価値観の統合プロセス—接続可能な地域振興モデルの構築について—、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
9. スマートツーリズムを活用した過疎地域の観光振興—東京都檜原村を事例とした定住人口減少対策の実践的研究—、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
10. 都市近郊中山間地域の工業団地開発による産業立地・振興の優位性—経営学的アプローチによるケーススタディ(金沢テクノパーク)—、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
11. ドローン事業による地域活性化の効果と可能性、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
12. リピーターが地域への愛着に至るプロセスについての一考察、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
13. 空家・古民家再活用による地域密着動画スタジオで情報発信力と質的価値の向上、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
14. 東京都西多摩郡檜原村における移住者と受け入れ住民の関係性、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
15. 檜原村における地域バリューチェーン分析—持続可能な地域振興モデルの構築に向けて—、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
16. 解釈可能な機械学習を用いた檜原村の現在と未来の幸福感・地域要素向上のための要因分析、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
17. 変革の時代を生き抜く力—MIT スローン・スクールの学びから紐解く人材育成の未来—、第 15 回横幹連合コンファレンス、2024 年 12 月
18. 地域ビジネス戦略研究におけるデータサイエンス—構造方程式モデリング、NSP、テキストマイニングと AI—、経営行動研究年報 第 33 号、2024 年 12 月
19. 大都市を中心とした国家発展戦略：ロンドン、パリ、ニューヨークの役割、地域デザイン No.23、2025 年 3 月

【作品等】

・

【科学研究費助成事業への応募状況、採択状況】

- ・ 起業による地域創生のための人的ネットワーク構築に関する研究、基盤研究 C、採択済
- ・ 環境経営の海外移転におけるジレンマー環境と経済両立の促進/阻害要因を探る—、基盤研究 C、採択済

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・ 富士陸送株式会社との共同研究(寄付金受入済)「デジタルロジスティックス、コンテナラウンドユースの研究」
- ・ 株式会社コグニソリューション(寄付金受入済)「認知機能に関する社会課題解決」

【受賞等】

- ・実践経営学会 学会賞受賞

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- ・檜原村と連携協定を締結した。
 - ・公立大学法人福知山公立大学北近畿連携機構の NEXT 産業創造プログラムに参加。
- 地方行政にマネジメント理論を導入する地域マネジメント理論について客員教授として講義を行った。
- 京都府の地域マネジメントについて指導を行って PBL 成果報告会へ参加してアドバイスを行った。
- 京都府の企業の新事業創出支援し「長く使えるペットグッズ」「米粉の活用」等の事業化に貢献した。
- ・東京都総務局行政部から要請があり、東京多摩・島しょ地域への移住定住に向けた相談窓口等の運営業務委託技術審査委員会のアドバイザーとしてアドバイスを行った。
 - ・特許庁商標登録第 56451866 号「香川農 R-1」(地ワイン) 板倉を含む地域ブランドの研究者 5 人によるデザインの商標登録。
 - ・公立大学法人高知工科大学の博士学位審査等に参加。

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称、発明者、権利者、工業所有権の種類・番号、出願年月日、取得年月日)

・

【研究分担額】

(研究代表者・分担者名、所属、金額 (円))

- ・板倉宏昭、産業技術専攻、432000 円